



男子＝ラストスパートするアンカーの佐々木直斗さん

話題

ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202

懸命に仲間へタスキつなぐ

県中学校駅伝競走大会で西根中が男女とも力走

第37回県中学校駅伝競走大会は9月30日、花巻市日居城野運動公園で開かれ、市内からは西根中(男子・女子)が出場。男子が7位入賞を果たしました。また女子は17位となり、男女とも上位大会への出場権獲得はできませんでしたが、選手は全力を出し切りました。

男子2区を走った長山璃久さん(3年)は「自分たちは練習から本気で取り組み、今日も最善を尽くした。来年は必ず東北大会へ行って欲しい」と振り返るとともに、後輩へ想いを託しました。



女子＝4走の遠藤莉帆さんへタスキを託す蒲澤ゆめこさん



全国から集結した名車に見入る来場者

全国から往年の名車が集う

惜しまれつつも23年続いたイベントに幕

第22回ノスタルジックカーin八幡平ファイナルは9月18日、市さくら公園イベント広場で開かれ、全国から集った愛好家たちの名車約180台が並びました。

最後の開催となった今回は、コンサートや車の部品販売なども行われ、多くの来場者でにぎわいました。同イベント開催に尽力した八幡平クラシックカー同好会北田静雄会長は「運営の負担が大きく今年で最後とした。地域貢献を目的に始めたが、多くの人とつながることができた」と感謝の気持ちを述べました。



遺族など約60人が出席した市戦没者追悼式で追悼の言葉を述べる遺族会代表(10月13日、西根地区市民センター)



第43回全日本社会人フィールドアーチェリー選手権大会で腕を競う選手(9月24、25日、いこいの村岩手)



大更小の児童がウクライナ支援のために1万4,577円の募金を集める(10月7日、大更小)



工藤委員長から適正配置計画(案)の報告を受ける星教育長

少子化を見据え議論重ねる

小中学校適正配置検討委員会の検討結果を報告

市内小中学校の教育環境について検討してきた市小中学校適正配置検討委員会(工藤良二委員長)は10月11日、検討結果をとりまとめ星俊也教育長へ報告しました。工藤委員長は「熟議を重ね、少子化や施設の老朽化など今の状況に適応した計画案が出来たと思う。子どもたちの教育環境の向上にぜひつなげてほしい」と期待を述べました。

市教育委員会では、今後住民説明会を行い、計画の策定に向けた取り組みを進めていく予定です。



障害物を乗り越えゴールを目指す参加者

県内外の体力自慢が集結

市発祥のフィールドXレースが2年ぶりに開催

第16回フィールドXレースは10月2日、市総合運動公園内の特設コースで開かれ、約350人の体力自慢たちがゴールを目指しました。

レースは自然の地形に多数の障害物を設置したコースを使用し、スプリント(200m)、ロング(2、4、10km)の種目を年代別などに分けて実施。一般男子10km(40歳未満)で優勝した本城昇さんは「30代最後に優勝できてよかった。来年からカテゴリーが変わるので、先輩たちに負けないように頑張りたい」と意気込みました。

障がい者の職場定着に尽力

長年の取り組みが評価され、大臣表彰を受賞

県内で初めて障害者雇用職場改善好事例厚生労働大臣表彰を受賞した(有)西部産業は10月4日、佐々木孝弘市長に受賞の報告をしました。

同社は社員への障がい者雇用に対する理解促進を図り、支援体制を整備。障がいのある社員の意欲向上に努め、長期雇用を実現したことなどが評価されました。

吉田稔博代表取締役社長は「障がい者雇用に対して理解してくれた社員に感謝している。これからも自立支援を続けていきたい」と決意を新たにしました。



佐々木市長と吉田代表取締役社長(中央)、吉田美保子常務

児童が災害を主体的に学ぶ

田頭小が火山防災教育をテーマに学校公開

田頭小(中軽米利夫校長、児童48人)は9月29日、火山防災教育をテーマに学校公開を行い、市内外の多数の教職員や関係者が参加し研究に理解を深めました。

5年生の公開授業では、自分の住む地区に起こり得る災害について、児童自ら市の火山防災マップをタブレットで調べ、避難場所などを確認し発表しました。

市教育委員会は本年度、防災教育研究部会を中心に編集した火山防災副読本を、市内の全小中学校に配布しており、今後も防災教育を進めていきます。



タブレットや大型ディスプレイも使い、視覚的に学習



P T Aの活動報告に興味深そうに聞き入る参加者

他校のP T A活動を参考に

生涯学習推進大会・PTA連絡協議会研修会を開催

学びを通じて豊かな人間性と創造性を育む市生涯学習推進大会は10月1日、西根地区市民センターで行われ、市内外から約90人が参加しました。

当日はP T A活動の報告のほか、目と体の使い方を学ぶトータルビジョントレーニングに関する講演会も実施。参加した田山小P T Aの阿部由貴さんは「コロナ禍で活動が制限される中、工夫を凝らし地域との連携を絶やさず続けていることに感心した。今後の活動の参考にしたい」と意気込みを示しました。



おいしくなあれと気持ちを込めて定植する園児たち

おいしいイチゴになあれ

農業に興味を持ってもらおうと食育体験を開催

サラダファーム食育体験は9月27日、サラダファームヴィレッジで開かれ、平舘こども園年長児17人が参加し、イチゴの定植を体験しました。

園児たちは溶液の入ったパイプの棚に草姫という品種の苗、約60株を一つ一つ丁寧に定植。沢口大和くんは「おいしくなしてほしい。早く食べたい」と収穫を待ちきれない様子でした。

今回定植したイチゴは来年1月に収穫体験を実施する予定です。

すなっぶギャラリー



八幡平遭難対策委員会捜索救助隊が防災航空隊と連携し救出訓練を行う(10月1日、八幡平・岩手山周辺)



市内の各小学校でマラソン大会が開催。一等賞を目指し元気に駆け出す(9月29日、寄木小校内マラソン大会)



敬老の日に合わせて、75歳以上の対象者に記念品(和菓子)を贈呈(9月19日、下町町内会)



10月2日で100歳を迎えられた立柳ミツさん＝上野駄＝これからも元気で(10月5日、富士見荘)



園児たちの作品展示やステージ発表などでにぎわいを見せた大更コミセンまつり(10月15、16日、大更コミセン)